

令和８年度第１回静岡県地域公共交通活性化協議会 議事概要

日 時 令和８年８月２５日（火）

14:15～16:30

場 所 県庁西館４階第１会議室
（オンライン併用）

出席者 委員名簿のとおり

１ 開会

２ 協議事項

（１）令和７年度決算報告について

（２）静岡県地域公共交通計画の令和７年度の評価について

３ 報告事項

（１）ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて

４ 閉会

５ 会議の内容（議事要旨）

【協議事項（１） 令和７年度決算報告について】

事務局より資料１の説明

→協議事項（１）異議なし（承認）

【協議事項（２） 静岡県地域公共交通計画の令和７年度の評価について】

事務局より資料２の説明

（座長（学識経験者 松本先生））

○宇都宮委員からの事前意見は。

（事務局）

○指標１の乗車人員数について、JR、私鉄、バス、タクシーすべて取り揃った一昨年の数値だけでなく、出せる限りの最新の数値を使った方がよいというご指摘と、中部地域と西部

地域の指標について、取組数だけでなくその内容や結果をしっかりと検証すべきだというご意見があった。指標 1 は最新の数字を追記し、中部と西部は今後、各市町にヒアリング等を実施しながら検証を進めていきたいと考えている。

(座長(学識経験者 松本先生))

○「要改善」評価の原因の精査の仕方について、事務局の考えは。

(事務局)

○指標 2 は収支率や乗車人員がどの系統でどのぐらい増減しているかというような細かい分析を実施する。伊豆地域の指標は地域公共交通以外の自家用車、観光バスといった数値の深掘り、交通事業者へのヒアリングを考えている。

(座長(学識経験者 松本先生))

○伊豆地域の指標の数値が下がっている理由はどう考えているか。

(事務局)

○一つとして、インバウンドによるレンタカーでの移動が増えていることが考えられる。公共交通以外では自家用車、観光バスの割合が増えているため、さらに深掘りしていきたい。

(学識経験者 鈴木先生)

○公共交通利用率については、踊り子号などもう少し伊豆に合わせた調査ができるといい。
○企画乗車券はそれぞれの性格、知名度などで分析できるといい。
○宇都宮先生のご指摘にもあったように、交通サービスの見直しや新たな公共交通サービスはどのようなロケーションでどういうやり方をして、それがどう地域に定着していくのかを追跡していく必要があると思う。

(事務局)

○公共交通利用率については、アンケート内容を詳細に洗い出してみたい。
○企画乗車券も、細分化して分析ができると思う。

(座長(学識経験者 松本先生))

○検証は、基本的には自治体ごとにされるといい。県としては、その情報を集める必要性があるかを検討していただきたい。
○伊豆急行から、私鉄の分担率が下がっていることについて見解をいただきたい。

(伊豆急行)

○2025 年 11 月の中国政府の渡航自粛の注意喚起の話が出るまでは好調であったが、以降はその影響を大きく受けた。

(座長(学識経験者 松本先生))

○市町が GTFS を整備する予定がないと回答した理由を県は把握しているか。また整備への

県としての対応方針は。

(事務局)

○理由としてはおそらく予算面、人員面の両方。県としてはまずヒアリング等で原因を究明し、何ができるかを考えていきたい。

(座長(学識経験者 松本先生))

○自治体から、GTFS 整備の障害となっている事象があればご紹介いただきたい。松崎町はいかがか。

(松崎町)

○障壁はあまり感じてはいないが、町として GTFS の必要性を感じていないため優先度が低くなっている。

(座長(学識経験者 松本先生))

○GTFS について今一度調べていただいた上でぜひ整備してほしいのですが、マンパワーが足りない、あるいは予算が足りないということであれば、県に相談してみしてほしい。

→協議事項(2) 異議なし(承認)

【報告事項(1) ハッピーライド in 静岡プロジェクトについて】

事務局より資料 3-1 及び資料 3-2 の説明

(学識経験者 鈴木先生)

○JR 東海から、昨年のタイアップがどうだったか教えてほしい。

(JR 東海)

○私は昨年、現場でこの発売を社員に周知しており、ハッピーライドを活用した親子連れが沢山来ていたことは覚えている。今年度の話については、調整中のためお話しできない。

(座長(学識経験者 松本先生))

○今年度もぜひ県と一緒に周知していただきたい。

(学識経験者 鈴木先生)

○今後も、交通事業者と県や市町が一緒になって、利用促進できるように協力していければいいと思う。

(座長(学識経験者 松本先生))

○JR 東海で、普段より利用が増えた、あるいは親がついてきたので収入も増えた、のようなデータが得られたらありがたい。

(静岡市)

- 12月には市内でいろいろなイベントを実施予定。「イベントにお越しの際は、小学生以下のお子様はバスで無料で来られます」などの案内ができれば、バス利用者もイベント参加者も増えると思われるため、できるだけ働きかけをして、相乗効果を図りたい。

(座長(学識経験者 松本先生))

- 素晴らしい取組。本日まで参加いただいている各自治体の担当の方々にも、ぜひ周知をお願いしたい。
- 昨年度もイベントの認知不足があったようだが、今年度の県の対応方針は。

(事務局)

- 今まで実施していた教諭を通じた周知のさらなる徹底と、新たに PTA 等を通じて保護者へ直接連絡が行くような周知方法を考えている。具体には教諭に説明用のペーパーを配布しチラシ配布時に児童に説明を促し、また保護者ライン等にペーパーの内容とともにチラシデータを送れるようデータ配布を行うことを考えている。

(座長(学識経験者 松本先生))

- ぜひそういう形でお願いしたい。それから、なぜ小学生を無料にするのかを保護者の方々にしっかりお伝えいただくとよろしいかと思う。

(静岡運輸支局)

- ハッピーライドも3年目を迎え、年々、取組が広がっているというような手応えがもしあれば教えていただきたい。

(事務局)

- 2年目に行った利用者向けアンケートで、その前の年もバス無料を利用したという声もあり、また毎年この時期には、バス無料で出かけているという声も見受けられたため、引き続き続けていくことで周知を図りたいと考えている。

(座長(学識経験者 松本先生))

- 交通事業者さんにもご負担をかけているということを認識し、皆さんで協力しながら、なんとか継続できればと思っている。
- 最後にまとめを、鈴木委員からお願いする。

(学識経験者 鈴木先生)

- 複数の事業者や多くの立場の人たちが一つになって協力できる、この利用促進の企画は非常に重要。そしてそれは静岡県ならではの交通のあり方につながっていくのかなという気がする。この協議会の場も活用しつつ、情報を共有しながら地域にとって役に立つ企画に仕上げていければいいと思う。

(座長(学識経験者 松本先生))

- 協議会には我々のような学識が入っているため、行政の担当者間、あるいは行政と交通事業者間ではなかなか言いづらいようなことも言っていただければ、うまくさばくので、ぜひ積極的にそれぞれの立場からご発言をいただければと思う。
- 先ほど事務局から紹介があった JCOMM が、9 月 4 日、5 日に湯沢カルチャーセンターで行われるが、全国のいろんな自治体、あるいはいろんな交通事業者さんが利用促進等々に向けた取り組み、非常にユニークな取り組みの発表を行っている。ポスター発表を中心に、対面で意見交換をする場となっているので、もしお時間があれば、ご参加いただけると思います。

以上